

2022年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社ACSL  
 代表者名 代表取締役社長兼COO 鷲谷 聡之  
 (コード番号: 6232 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役CFO 早川 研介  
 (TEL. 03-6456-0931)

通期業績予想と実績値との差異及び特別損失（減損損失）の計上に関するお知らせ

2021年11月11日に公表いたしました2021年12月期（2021年4月1日～2021年12月31日）の通期業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。加えて、特別損失（減損損失）を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年12月期通期連結業績予想と実績値との差異（2021年4月1日～2021年12月31日）

|   | 売上高 | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|---|-----|--------|--------|-------------------------|----------------|
|   | 百万円 | 百万円    | 百万円    | 百万円                     | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A)                              | 480 | △980   | △1,020 | △1,020                  | △86.49         |
| 実績値 (B)                                 | 501 | △1,188 | △1,213 | △1,225                  | △103.94        |
| 増減額 (B - A)                             | 21  | △208   | △193   | △205                    | —              |
| 増減率 (%)                                 | 4.4 | —      | —      | —                       | —              |
| (ご参考)                                   |     |        |        |                         |                |
| 前期連結実績<br>(2021年3月期)                    | 620 | △1,139 | △1,081 | △1,511                  | △139.54        |
| 前第3四半期連結実績<br>(2021年3月期<br>第3四半期連結累計期間) | 125 | △745   | △688   | △812                    | △75.12         |

(注) 当社の決算期変更の経過期間となる2021年12月期は、2021年4月1日から2021年12月31日までの9か月決算となります。

## 2. 差異の理由

売上高は、政府や大手企業を中心としたセキュアな国産ドローンの需要の高まりと、社会実装に向けた本格的な動きから、前回の業績予想発表時点より実証実験やプラットフォーム機体の販売が好調に推移したことで、前回発表予想を上回りました。また、2021年12月より国産の小型空撮ドローン「SOTEN (蒼天)」の受注を開始した影響などにより、2022年12月末時点の受注残は1,077百万円となっております。利益面は、世界的な半導体不足による部材価格の高騰により費用が想定より増加した影響や、小型空撮ドローンの量産体制の構築や2022年度にレベル4の法規制の整備が見込まれる物流ドローンなどの研究開発を推進した結果、研究開発費が前回発表予想を上回った影響、下記のとおり固定資産の減損を行った影響などで、前回発表予想を下回りました。

なお、2021年12月期は決算期変更の経過期間であることから、2021年4月1日から2021年12月31日までの9か月決算であり、4月から12月の9ヶ月間の販売実績及び12月末時点の受注残はいずれも過去最高の金額となっております。

## 3. 特別損失（減損損失）の計上について

当社の保有する有形固定資産について、会計基準に基づき回収可能性を検討した結果、減損損失として8百万円を特別損失に計上いたしました。

以 上